

朗和基督教會週報  
 第三十五號  
 五月十四日

發行主任 白石清  
 兼週水曜日發行

○今週の標語  
 「凡この徳武、今は  
 我の中に見えず、  
 及び悲しむ心、  
 及び後方に留りて候  
 聖する者には、  
 我らも罪を致すべし」  
 (マテウ二十一、二)

○聖日禮拜順序  
 五月十七日、午後二時、教会堂  
 司會 神原 牧師  
 樂 祭 (五三三)

招拜及主待 祭 (五三四)  
 聖書拜讀 (三六十一、三六二)  
 祈 禱 祭 (一一二)  
 讃美 歌 白石 牧師  
 「有情の無情」

報 告 祭 (二六〇)  
 頌 禱 祭 (五三六)  
 祈 禱 祭 (五三六)

○青年部諸集會  
 司會、キヤロット師  
 スフレীগ氏

○青年集會、十七日夜七、三〇  
 西合鏡、一 ナスカウエロン

○祈禱會、二十日夜七、三〇  
 東合鏡、(ヒニヤース)  
 事務所 (レニヤース) キヤロット師

日曜學校  
 全六校、十時九時  
 ・學課、教會事業の開始  
 ・中、又、十九日、二十四、四一、四八  
 ・全、又、三、四、一七

○諸集會案内  
 ○夏季聖書學校最終學食會  
 十五日(金)午後七時半、各校別  
 又見送儀の御禮をわらうまじ

○傳道會、十七日夜、教会堂  
 司會者 平原 中校  
 詠 歌 神原 牧師

○平和を来りしもの  
 白石 清

○婦人宣交會  
 十九日(木)午後二時半  
 司會者 加納 夫人  
 ○聖書研覽會  
 十九日(木)夜八時 神原 牧師

○祈禱會、廿日、夜、教會堂  
 指導補助 神原 牧師  
 坂上 牧師と鎮日嬢の結婚式  
 廿日(金)午後七時半、教会堂、白石  
 石 牧師司式、下、奉與セラレデ、教會  
 員、禱見師、御参列、頂戴、さす、皆、以上、牧  
 師、より、御招待、頂戴、さす、コト、  
 尚、武、敬、答、申、奉、進、り、多、謝、意、を、  
 祈、禱、新、婦、牧、師、の、御、臨、臨、サ、レ、ス、

今や人類は如何に巧みなる造詣を設けたにても、神の聖  
 前に申譯し詞はあざとい。神は頂に聖子で、以て人類への  
 救救の道を探し、贖罪の大業を完遂し給いた。基督再臨の  
 著しき運送(マテウ)、「人頭中」一人の比ぶるも、惜み給ひ、凡て  
 の人の悔改に導き、人をも望みて、汝を永く忍び給ひ、  
 され程に神に望まれ、愛せらる、人間、神の御子の血  
 を、惜み給はかりし人類を、ストツク、ヤードの牛の様に  
 歐洲にて、又夏洋に、大屠殺しつ、ある、津間、いせの、中  
 下、ある。斯く神が聖子の御血を以て贖ひ給ひし人類を  
 其罪惡に與り、おしく、救済を、世に、身へ、下に、救済、する、か、如  
 きは、神の御子、お、十字架に、釘けり、と、同様、最大なる、罪  
 惡である。百五の年の中、一匹の、迷ひ、出た、時、九十九を、野  
 におき、定めた、る、もの、を、尋ね、る、羊、飼、の、心、持、が、主、を、導、く、は、  
 り、か、然、る、に、今日、人間の、中、つて、ある、もの、は、何、う、だ、百五  
 の、百、五、年、辨、り、す、後、て、任、務、の、工、夫、の、り、して、む、る、の、では  
 まい、か、勿、論、今日、の、如、き、世、の中、を、尋、ね、る、羊、飼、の、心、持、と、して  
 扱、り、方、が、無、理、か、も、知、れ、ない、文、程、ア、ノ、一、マ、ル、を、世、の中、  
 に、現、在、裁、り、は、任、人、である、の、だ、人格、價、値、の、全く、忘却、せ、ら  
 れ、た、社會、位、置、が、何、もの、は、あ、る、ま、い、人間、は、機械、の、齒、車、の  
 如、く、人格、は、無、視、せ、ら、れ、運、具、と、して、扱、り、凡、姓、名、の、代、に、番  
 号、を、呼、び、ら、る、人間、である、光、榮、は、何、処、に、あ、る、萬、物、の  
 聖、徒、たる、品、位、は、何、処、に、あ、る、五、に、我、執、我、執、の、有、り、ま、い、  
 を、隨、面、を、し、る、世界、の、面、前、に、さ、ま、ち、あ、り、し、て、轉、ん、で、も、た、ら、な  
 起、き、ま、い、と、い、ふ、物、様、それ、が、平和、會、議、の、態、好、で、あ、る、  
 大、海、洋、協、定、は、如何、にも、主、張、が、早、く、も、其、主、張、する、色、に、於  
 く、破、綻、を、来、し、て、る、もの、で、あ、る、ま、い、か、世界、軍、備、の、開、発、利用、

聖徒たる品位は何処にある。五に我執我執の有り、  
 を隨面をしる世界の面前にさまちあがりし、轉んでもたは  
 起きまいといふ物様、それが平和會議の態好であらうか、  
 大海洋協定は如何にも主張が早くも、其主張する色に於  
 く破綻を来してゐるのではないか、世界軍備の開発利用、

